

m 学校法人 三島学園 要覧

(令和2年6月現在)

■仙台市泉区虹の丘

東北生活文化大学

家政学部

■家政学科 □服飾文化専攻 □健康栄養学専攻

美術学部

■美術表現学科

東北生活文化大学短期大学部

生活文化学科

■食物栄養学専攻 ■子ども生活専攻

東北生活文化大学高等学校

- 普通科 [特別進学・進学・保育・未来創造各コース]
- 商業科 [情報ビジネス・進学ライセンス各コース]
- 美術・デザイン科 [美術領域・デザイン領域]

■仙台市太白区向山

東北生活文化大学短期大学部附属

ますみ幼稚園

東北生活文化大学短期大学部附属

ますみ保育園



三島学園



目 次

▶三島学園理事長挨拶	1
▶三島学園の概要 建学の精神 斎藤實子爵と三島学園	2
▶三島学園の沿革	3
▶三島学園管理運営組織図	5
▶三島学園役員・主な役職者	6
▶令和元年度法人収支状況	7
▶歴代の理事長 キャンパス・建物	8
▶三島学園の変遷	9
▶大学・短期大学部・高等学校・幼稚園・保育園紹介	17
▶アクセス	18

建学の精神

高い知識と技倆を修め、
常に文化創造に寄与する、
清く、正しく、健全な人間の育成

校訓

励み、
謹み、
慈み



三島学園理事長挨拶

「学校法人三島学園要覧2020」をお届けします。

本学園は、2020年に創立120周年を迎えます。明治33（1900）年10月6日に三島駒治先生が東北法律学校設置認可を受け、10月28日仙台市東三番町に開校したのが学園の始まりです。夜間で、修業年限は本科が三ヵ年、別科が一ヵ年でのスタートでした。

その後、いろいろな変遷を経て、東北生活文化大学、東北生活文化大学短期大学部、東北生活文化大学高等学校、東北生活文化大学短期大学部附属ますみ幼稚園及び東北生活文化大学短期大学部附属ますみ保育園を有する学園として発展してきました。

昨今では、グローバル化、少子高齢化の進展、新興国の台頭などによる競争激化等の社会経済状況の変化により大規模な教育改革が推進されております。

日本では健康寿命が世界一の長寿社会となり、100歳を迎えることも難しい時代ではなくなりつつあり、国では、「人生100年時代」に、すべての国民が元気に活躍し続けられる社会を実現しようと「人づくり革命」に乗り出しています。

人づくり革命では、幼児教育の無償化、待機児童の解消、高等教育の無償化、私立高校の授業料実質無料化、保育士・介護人材の処遇改善、大学改革、リカレント教育、高齢者雇用促進等主に教育を中心とした政策の実施がされつつあります。

本学園でも、これらに十分対応するため、それぞれの分野で対応していくこととしております。令和元年10月からは、幼稚園及び保育園では無償化を実施しております。令和2年4月からは、高等学校での無償化を実施することとしております。大学及び短期大学部では、大学等における修学の支援に関する法律の機関要件を満たしている確認を受けております。本学園では、これら国が求めている教育改革に備えるべく努力して参る所存です。

本要覧が、学園内の教職員はもちろんのこと、学園外の皆様方にとって何がしかの参考になれば幸いです。さらには、本学園の教職員の活性化につなげるためにも、本要覧をご覧になられた皆様方からのご批判やご意見を賜ればと願っております。

令和2年1月

学校法人三島学園理事長 大庭 清



双葉ヶ丘入り口にある学園木（紅梅・白梅）の説明板
（令和元年9月18日設置）

創立者墓地（仙台市青葉区北山／輪王寺）



三島学園の概要

三島学園は現在、東北生活文化大学、東北生活文化大学短期大学部、東北生活文化大学高等学校、短期大学部附属ますみ幼稚園、短期大学部附属ますみ保育園の五つの教育・保育機関を擁する総合学園であります。明治 33（1900）年三島駒治・よし夫妻による東北法律学校、3 年後の東北女子職業学校開校を礎に、時代の要請と地域の期待に応えて改革を重ね、現在の学園へと発展してきました。

初めは東三番丁、次いで仙台市の中心部に近い清水小路に誕生しましたが、規模拡大に伴って、大学・短大・高校は約 40 年前に風光明媚な泉区虹の丘に移転し、太白区向山にある幼稚園・保育園と共に二つのキャンパスを形成しております。

激動の 20 世紀を歩みつつ、創立 120 年の歴史を誇り、実学重視の教育を通じて地域文化の向上に寄与することを建学の精神とし、生活に密着した人材の育成を使命として多くの有為な人材を世に送り出して参りました。

21 世紀に入り、社会が高度化・多様化・グローバル化へと歩み続ける中、知識基盤社会への構築を目処に、教育に課せられた問題は多岐にわたり、教育機関としての責務はますます大きくなっております。そのことを自覚しつつ、学園全体の教育内容の改善・充実に努めながら、大学・短大部門では「家政、服飾、健康栄養、美術、食物栄養、保育等の専門分野の教育と研修」を、高校部門では「基礎と基本を大切にし、一人ひとりの多様な個性や能力・才能を尊重し、その価値を認めて最大限に伸ばす教育」を、幼稚園・保育園では「一人ひとりの良さをさらに伸ばしつつ、たのしく、やさしく、たくましく、調和の取れた子どもを育成するための教育」を、それぞれ力点において教育活動を続けております。

本学園は、これらの専門知識の教育と豊かな人間形成を通じて、必ずや地域の生活文化に寄与する人材の育成に貢献できるものと自負しております。

建学の精神

本学園の建学の精神は、学園創設時における創立者の教育精神、すなわち、実学教育による地域の生活文化の向上であります。この教育精神に基づいて、わが国教育の振興改善と人材育成に寄与するため、大学・短大の創設においては「高い知識と技倆を修め、常に文化創造に寄与する、清く、正しく、健全な人間の育成を目指す」を建学の精神に掲げ、高校の創設においては「実学を重んじ、個性の伸長と清く正しく礼節を大切にした人格円満な人間を育成し、もって地域社会の発展に貢献する」を建学の精神に掲げ、共に学園創設時の創立者の教育精神をゆるぎなく堅持して今日に及んでおります。

また、創立者の教えの言葉「励み 謹み 慈み」は校訓として学内の石碑に収められ、校歌にも謳われております。

まこと 斎藤實子爵と三島学園

第 30 代 内閣総理大臣（1932 年 5 月～1934 年 7 月）を務めた斎藤實子爵は、岩手県水沢町（現奥州市水沢区）の出身で、三島よし先生とは又従兄弟に当たる親戚関係にあったため、三島両先生が仙台に東北法律学校、東北女子職業学校を創設した当初から、両先生への支援を惜しまず、物心両面で両先生を激励し続け、大正 13 年から昭和 11 年にわたり学園の設立者にも就任くださって学園の発展に多大の貢献をされました。三島両先生はこの恩義に報いるため、昭和 11 年 2・26 事件により子爵が亡くなられた後、子爵と学園との深い絆が学園に学ぶ全ての人々に永久に記憶されることを願って、子爵の胸像を建てられました。

学園内に設置されている
創立者三島駒治・よし両先生と
学園の恩人斎藤實子爵の胸像

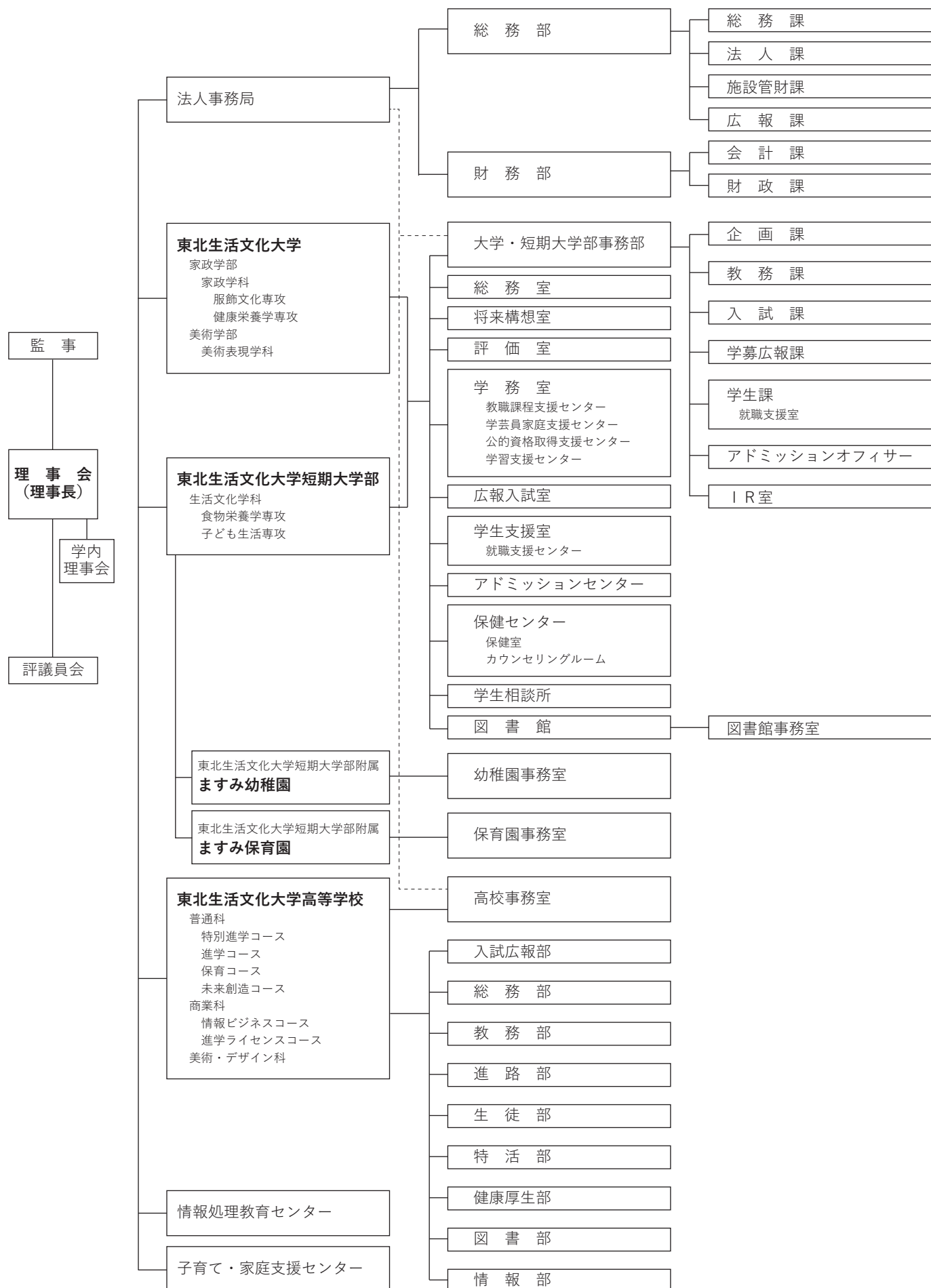


三島学園の沿革

- 明治33年10月6日：三島駒治先生、宮城県知事から東北法律学校設置認可〔(夜間)、修業年限：本科（3年）別科（1年）〕を受ける。
- 明治33年10月28日：東北法律学校、仙台市東三番丁143番地に開校する。
- 明治36年10月10日：東北女子職業学校設置「本科（修業年限2年）・別科（修業年限2年）・高等研究科（修業年限6ヶ月）」認可される。
- 明治36年10月27日：教育勅語を奉戴し、創立記念日と定める。
- 明治38年4月：東北女子職業学校高等研究科を高等研究科本科及び別科に分け、家政科、家庭商業科、裁縫師範科、裁縫専攻科の4コースを設置する。修業年限を1年とする。
- 明治43年4月：東北女子職業学校に速成科（修業年限1年）を設置（4つめの科）する。
- 大正2年9月：仙台市清水小路3番地への移転完了
- 大正11年3月31日：東北帝国大学に法文学部が設置され、使命が達成されたとして東北法律学校を廃止する。
- 大正13年3月10日：東北女子職業学校の高等研究科を廃止し、師範科及び専攻科を設置する。
東北女子職業学校速成科を選科に改称する。
- 大正13年5月13日：東北女子職業学校は職業学校規程に基づく実業学校となる。
- 大正13年7月16日：設立者を、三島よし及び齋藤實・子爵とする名義変更が文部大臣から認可される。
- 大正15年3月9日：東北女子職業学校に高等師範科（修業年限3年）の設置認可を受ける。
- 昭和3年10月27日：創立25周年記念式を挙げる。
- 昭和5年4月21日：東北女子職業学校に商業本科（修業年限2年）、商業専修科（修業年限1年）、師範研究科（修業年限1年）及び高等師範研究科（修業年限1年）設置認可を受ける。
- 昭和6年1月23日：東北女子職業学校師範研究科を師範専修科に、高等師範研究科を高等師範専修科に改称する。
- 昭和6年10月28日：東北女子職業学校専攻科を、専攻科第一部（和裁専攻）及び専攻科第二部（洋裁専攻）への改組が認可される。
- 昭和9年3月1日：東北女子職業学校に別科の廃止、本科の修業年限4年への改正、選科を裁縫専修科に改称及び専攻科第一部と専攻科第二部を統合し専攻科への改組が認可される。
- 昭和13年9月16日：設立者を、三島駒治及び三島よしとする名義変更が文部大臣から認可される。
- 昭和14年3月31日：東北女子職業学校に洋裁科の設置及び本科の第一部（尋常小学校就業者の受け入れ、修業年限4年）及び第二部（高等小学校卒業生を受け入れ、修業年限2年）への改組を認可される。
- 昭和15年3月25日：文部大臣から財団法人三島学園設立の認可を受ける。理事長：三島駒治
- 昭和19年4月15日：中等学校令及び実業学校規程により東北女子職業学校を東北女子実業学校と改称する。本科以外の各科を廃止する。新たに専攻科第一部（旧高等師範科）、専攻科第二部（旧専攻科）を設置する認可を受ける。
- 昭和20年4月：東北女子実業学校に特設専攻科を設置する。8月の終戦により廃止する。
- 昭和22年3月31日：三島学園女子専門学校（被服科、修業年限三カ年）の設置認可を受ける。学制改革により東北女子実業学校を三島学園女子中学校に切り替える。
（専攻科第一部は三島学園女子専門学校に改組する。専攻科第二部は専攻科と名称変更する。）
- 昭和23年3月31日：学制改革により三島学園女子高等学校（普通科）の設置認可、東北女子実業学校を廃止する。
- 昭和23年4月1日：三島学園女子高等学校に専攻科洋裁科（修業年限1年）を設置する。
- 昭和24年4月1日：三島学園女子高等学校に美容科（別科、修業年限1年）を設置する。
別科・専修科（修業年限2年）を設置する。
- 昭和25年1月19日：三島学園女子高等学校美容科が厚生大臣から美容師養成機関の認可を受ける。
- 昭和26年2月22日：財団法人三島学園を学校法人三島学園に改組する。理事長：佐藤 兌
- 昭和26年2月27日：三島学園女子短期大学の設置認可を受ける。6月3日、開学式を挙げる。
- 昭和26年3月31日：三島学園女子専門学校を廃止する。
- 昭和27年3月27日：三島学園女子高等学校専攻科を三島学園女子短期大学別科とする設置認可を受ける。
- 昭和27年4月1日：三島学園女子高等学校に夜間の定時制高校（修業年限4年）を設置する。
- 昭和28年10月27日：三島学園創立50周年記念式典を挙げる。
（創立を明治36年、西暦1903年とする）
- 昭和29年4月1日：三島学園女子短期大学に第二部（夜間2年制）及び別科被服専修第二部（夜間1年制）を設置する。
- 昭和30年3月31日：三島学園女子短期大学家政専攻科（1年制）を設置する。
- 昭和30年4月30日：三島学園女子短期大学附属ますみ幼稚園（仙台市向山大窪谷地102）設置の認可を受ける。同年5月28日、開園式を挙げる。
- 昭和33年1月10日：三島学園女子大学家政学部家政学科の設置認可を受ける。同年、6月3日開学式を挙げる。
- 昭和33年3月31日：三島学園女子短期大学別科被服専修第一部を廃止する。
- 昭和37年4月1日：三島学園女子短期大学に体育科を開設する。
- 昭和38年3月31日：三島学園女子短期大学別科被服専修第二部（夜間1年制）を廃止する。
- 昭和40年4月1日：三島学園女子大学家政学部生活理学科、生活美術学科を設置する。
- 昭和43年4月1日：三島学園女子高等学校に商業科を開設する。
- 昭和44年3月3日：三島学園女子短期大学附属丸田山ますみ幼稚園設置認可を受ける。同年4月1日開園する。
- 昭和45年3月31日：三島学園女子中学校を廃止する。
- 昭和47年3月31日：三島学園女子大学家政学部生活理学科の学生募集を停止する。
- 昭和49年4月1日：三島学園女子短期大学体育科廃止届出、受理される。
- 昭和49年12月2日：三島学園女子大学・三島学園女子短期大学・三島学園女子高等学校、仙台市清水小路三番地より泉市上谷刈字東伐生14番地（現校地）に全面移転を完了する。
- 昭和51年3月31日：三島学園女子大学家政学部生活理学科の廃止届出、受理される。
- 昭和55年4月1日：学園の所在地の表示、泉市虹の丘一丁目十八番地の二に地籍を変更する。
- 昭和56年4月1日：三島学園女子短期大学附属丸田山ますみ幼稚園の名称を：三島学園女子短期大学附属虹の丘ますみ幼稚園と改称する認可がされる。
- 昭和57年9月30日：三島学園女子短期大学家政科二部の廃止認可を受ける。
- 昭和58年10月27日：三島学園創立80周年記念式典を挙げる。

昭和59年	9月	：三島学園女子短期大学に第二部（夜間2年制）を廃止する。
昭和62年	4月	1日：三島学園女子大学の名称を東北生活文化大学に改称認可され、男女共学制に移行する。
昭和62年	4月	1日：三島学園女子短期大学附属ますみ幼稚園、三島学園女子短期大学附属虹の丘ますみ幼稚園の名称を、それぞれ「ますみ幼稚園」、「虹の丘ますみ幼稚園」と改称する。
昭和63年	4月	1日：仙台市と泉市の合併により、所在地の表示を仙台市虹の丘一丁目十八番地の二に地籍を変更する。
平成元年	4月	1日：仙台市の政令指定都市移行に伴い、所在地の表示を仙台市泉区虹の丘一丁目十八番地の二に地籍を変更する。
平成2年	10月	6日：三島学園創立90周年記念式典を挙行する。
平成4年	9月22日	：三島学園女子高等学校美容科（別科）、平成5年度生徒募集停止を届け出る。
平成5年	3月31日	：三島学園女子高等学校美容科（別科）を廃止する。
平成7年	9月23日	：虹の丘ますみ幼稚園、園児募集を停止する。
平成9年	4月	1日：虹の丘ますみ幼稚園、休園とする。
平成10年	3月31日	：虹の丘ますみ幼稚園を廃止する。
平成10年	4月	1日：三島学園女子高等学校普通科に、「生活文化コース」、「総合教養コース」及び「進学コース」を設置する。
平成12年	9月30日	：創立百周年記念棟、竣工する。
平成12年	10月27日	：創立百周年記念式典を挙行する。
平成13年	1月17日	：「一世紀にわたり生活に密着した教育と人材の育成に寄与」により河北文化賞を受賞する。
平成13年	2月27日	：三島学園女子高等学校が文部科学省及び総務省から「次世代ITを活用した未来型教育研究開発事業」の指定校に登録された。
平成13年	4月	1日：三島学園女子短期大学の家政学科を生活文化学科に改称する。
平成13年	4月	1日：仙台圏大学圏の単位互換制度が発足する。
平成13年	4月	1日：三島学園女子高等学校普通科に「美術コース」を設置する。
平成14年	4月	1日：三島学園女子高等学校普通科に「保育コース」を設置する。
平成15年	4月	1日：三島学園女子高等学校を東北生活文化大学高等学校と改称し、男女共学制を導入する。 東北生活文化大学高等学校商業科を「情報ビジネスコース」、「経営デザイン」の2コースに編成する。
平成15年	4月	1日：東北生活文化大学家政学部家政学科に「家政学専攻」と「健康栄養学専攻」を設置する。 健康栄養学専攻は、厚生労働大臣から栄養士及び管理栄養士の養成施設として認可される。
平成16年	4月	1日：三島学園女子短期大学を東北生活文化大学短期大学部と改称し、男女共学制を導入する。
平成16年	4月	1日：東北生活文化大学高等学校商業科が文部科学省から「教育改革推進モデル事業」の指定校に登録された。
平成16年	4月	1日：ますみ保育園を開園し、ますみ幼稚園に併設する。
平成17年	4月	1日：東北生活文化大学短期大学部生活文化学科に「生活学専攻」と「子ども生活専攻」を設置する。厚生省労働大臣から保育士養成施設として認可される。
平成18年	4月	1日：東北生活文化大学短期大学部生活文化学科子ども生活専攻が幼稚園二種免許の課程として認可される。 子育て・家庭センターを開設する。
平成19年	4月	1日：東北生活文化大学家政学部家政学科「家政学専攻」を「服飾文化専攻」に改称する。
平成20年	3月19日	：東北生活文化大学が「高等教育評価機構が定める大学評価基準を満たしている」と認定される。
平成20年	8月	2日：東北生活文化大学50周年記念式典及び祝賀会を挙行する。
平成22年	3月17日	：三島学園産学連携協議会が発足する。
平成22年	3月18日	：東北生活文化大学短期大学部が、「財団法人短期大学基準協会が定める第三者評価基準を満たしている。」と認定される。
平成22年	12月	8日：創立110周年記念を祝う会を挙行する。
平成23年	3月1日	：東日本震災の発災により建物設備が甚大な被害をうける。
平成23年	4月	1日：東北生活文化大学高等学校普通科の「進学コース」を「総進コース」及び「啓進コース」に改編する。 東北生活文化大学家政学部生活美術学科に、アートな職人コース、アートインストラクターコース、アーティストコース、デザイナーコースを設置する。 東北生活文化大学短期大学部生活学専攻にフードエンタテインメントコースを設置する。
平成25年	4月	1日：東北生活文化大学短期大学部に食物栄養学専攻を設置する。 同専攻は厚生労働大臣から栄養士養成施設の認可を受ける。
平成25年	4月	1日：東北生活文化大学高等学校に美術・デザイン科を設置する。 東北生活文化大学高等学校普通科の「総進コース」、「啓進コース」を「進学コース」、「特別進学コース」に改称する。 東北生活文化大学高等学校商業科の「経営デザインコース」を「進学ライセンスコース」に改称する。
平成25年	4月	1日：ますみ幼稚園、ますみ保育園の名称を、東北生活文化大学短期大学部附属ますみ幼稚園、東北生活文化大学短期大学部附属ますみ保育園に改称する。
平成26年	3月11日	：東北生活文化大学が、「日本高等教育機構が定める大学評価基準に適合している」と認定される。
平成26年	3月31日	：東北生活文化大学短期大学部生活文化学科生活学専攻を廃止する。
平成27年	4月	1日：東北生活文化大学家政学部家政学科服飾文化専攻の入学定員を、30名から28名に変更して、健康栄養学専攻3年次編入学定員2名とした。
平成28年	3月10日	：東北生活文化大学短期大学部が「高等教育評価機構が定める大学評価基準を満たしている」と認定される。
平成29年	4月	1日：東北生活文化大学高等学校の普通科「総合教養コース」と「生活文化コース」を統合し「未来創造コース」を設置する。
平成30年	7月20日	：東北生活文化大学美術学部美術表現学科設置計画が受理される。
平成30年	10月17日	：東北生活文化大学及び東北生活文化大学短期大学部と仙台市教育委員会との間で連携協力に関する協定書を締結する。
平成30年	12月19日	：上越教育大学と東北生活文化大学における上越大学大学院学校教育研究科への学生受け入れ及び学生支援に関する覚書を取り交わす。
平成31年	1月16日	：東北生活文化大学及び東北生活文化大学短期大学部と宮城県教育委員会との間で包括連携協力に関する協定書を締結する。
平成31年	4月	1日：東北生活文化大学美術学部美術表現学科を設置する。
令和元年	9月20日	：東北生活文化大学及び東北生活文化大学短期大学部が、文部科学省から大学等における就学の支援に関する法律第7条第2項に掲げる要件を満たしている旨の確認を受ける。

三島学園管理運営組織図



三島学園役員・主な役職者（令和2年6月1日現在）

理事長

大庭 清

理事（大学・短大・幼稚園・保育園担当）

佐藤一郎

理事（高校担当）

佐藤富夫

理事（財務・施設担当）

浅尾豊信

理事（学募・広報担当）

北折 整

理事（募金・歴史資料管理担当）

近江恵美子（学外者）

理事（企画・経営統括担当）

菅 福彦（学外者）

理事（企画・地域連携担当）

西野徳三

理事（教学担当）

有川幾夫（学外者）

監事（非常勤）

三島卓郎

監事（非常勤）

光井 正

評議員 佐藤一郎

評議員 佐藤富夫

評議員 北折 整

評議員 松尾 広

評議員 水沼武晴

評議員 油井康浩

評議員 稲邊眞由美

評議員 須藤佑子

評議員 笠松祐子

評議員 鈴木則子

評議員 近江恵美子

評議員 菅 福彦

評議員 大庭 清

評議員 西野徳三

評議員 小熊信治

評議員 有川幾夫

評議員 宮澤利彰

評議員 鈴木裕行

評議員 佐藤淳一

総務課長 庄司敏子

法人課長 長井孝行

広報課長 長井孝行

施設管財課長 大庭 清

財務部長 後藤 固

財政課長 後藤 固

会計課長 後藤 固

【大学】

学長 佐藤一郎

副学長 北折 整

家政学部長 鈴木裕行

家政学科長 鈴木裕行

服飾文化専攻主任 井上美紀

健康栄養学専攻主任 栗山孝雄

（生活美術学科長）佐藤淳一

美術学部長 佐藤淳一

美術表現学科長 佐藤淳一

【短期大学部】

学長 佐藤一郎

生活文化学科長 松尾 広

食物栄養学専攻主任 池田展敏

子ども生活専攻主任 松尾 広

【大学・短大の共通組織】

総務室長 松尾 広

将来構想室長 栗山孝雄

評価室長 佐藤靖子

学務室長 鈴木裕行

教職課程センター長 植松公威

学芸員課程センター長 三上秀夫

公的資格取得支援センター長 栗山孝雄

広報入試室長 池田展敏

学生支援室長 瀬戸典彦

保健センター長 曾根正彦

図書館長 三上秀夫

学生相談所長 永沼孝子

アドミッションセンター長 北折 整

学習支援センター長 鈴木裕行

IR室長 北折 整

【法人事務局】

事務局長 大庭 清

事務局次長 長井孝行

総務部長 長井孝行

【大学・短大の事務部】

事務部長 白崎隆典

企画課長 白崎隆典

教務課長 松田知子

入試課長 遠藤保博

学募広報課長 斉藤 繁

学生課長 岡部正利

アドミッションオフィサー 斉藤 繁

【高等学校】

高等学校長 佐藤富夫

教頭 水沼武晴

教頭 油井康浩

現職教育指導主事 三浦文道

現職教育指導主事 須藤由子

入試広報指導主事 三浦文道

入試広報指導主事 須藤由子

普通科長 小野安史

商業科長 泉田輝彦

美術・デザイン科長 倉本郁哉

3学年部会部長 小笠原智美

2学年部会部長 山村広子

1学年部会部長 梅津 隆

入試広報部長 倉本郁哉

総務部長 吉本世一

教務部長 鹿野尚文

進路部長 阿部博行

生徒部長 志摩有亮

特活部長 鎌田真理

図書部長 三浦奈美子

健康厚生部長 三浦聡子

情報部長 吉田潤一

事務長 中田 博

【幼稚園】

幼稚園長 小熊信治

主事 中田 博

【保育園】

保育園長 稲邊眞由美

会計責任者 後藤 固

【情報処理教育センター】

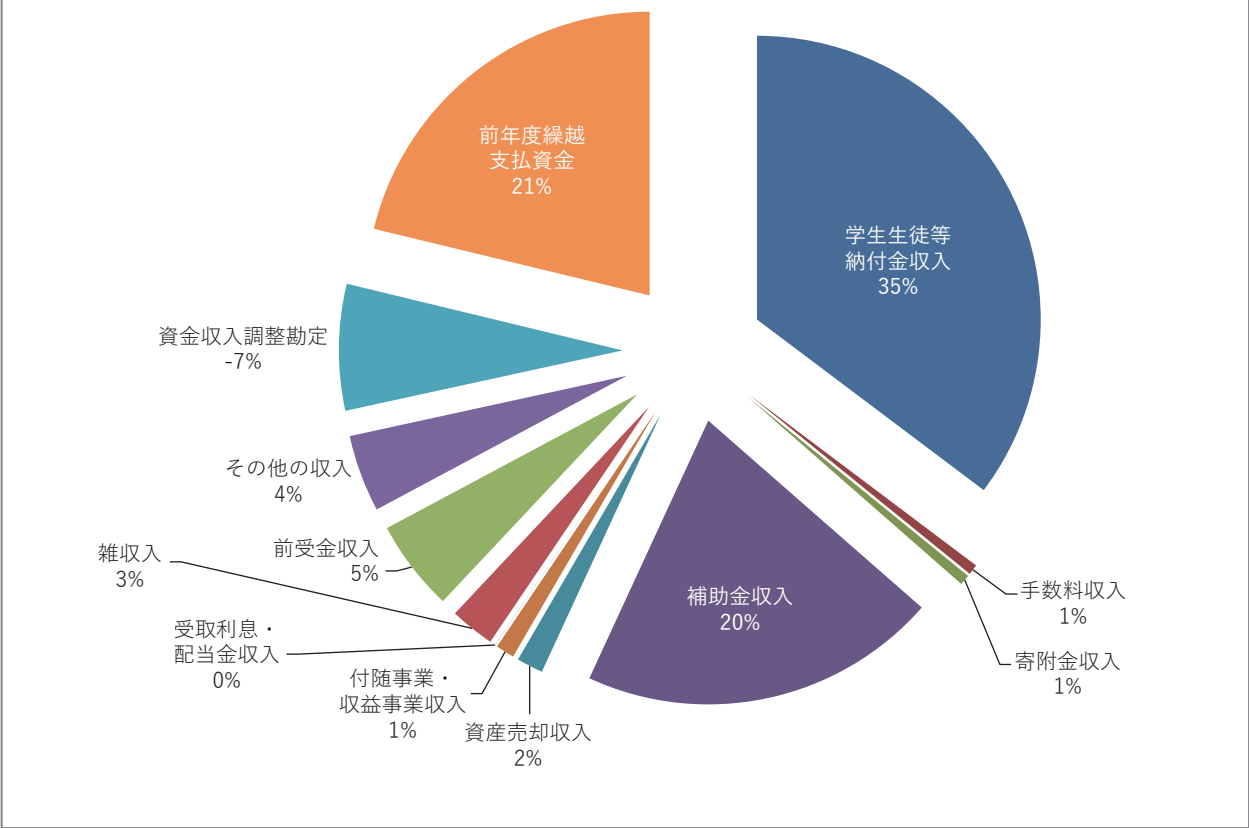
情報処理教育センター長 松尾 広

【子育て・家庭支援センター】

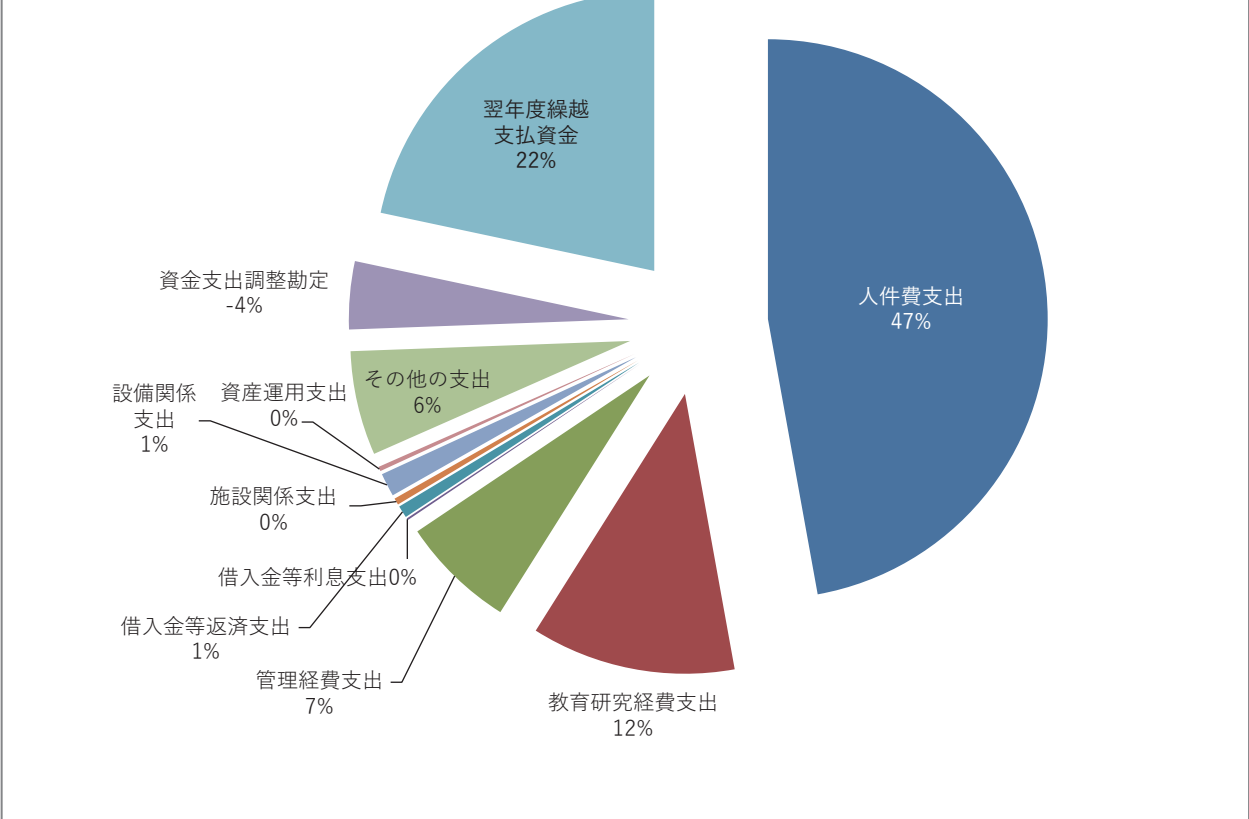
子育て・家庭支援センター長 松尾 広

令和元年度法人収支状況

令和元年度収入総額



令和元年度支出総額



歴代の理事長

■東北法律学校

昭和33年10月28日～大正11年8月29日 校主 三島 駒治

■東北女子職業学校

昭和36年11月11日～昭和15年3月24日 校主 三島 駒治

昭和36年11月11日～昭和18年9月3日 校長 三島 よし

■財団法人三島学園

昭和15年3月25日～昭和17年1月3日 理事長 三島 駒治

昭和17年1月3日～昭和25年1月8日 理事長 三島 よし

昭和25年1月8日～昭和26年2月21日 理事長 佐藤 允

■学校法人三島学園

昭和26年2月22日～昭和44年3月31日 理事長 佐藤 允

昭和44年4月1日～昭和46年3月31日 理事長 佐藤 直助

昭和46年4月1日～昭和47年6月16日 理事長 佐藤 允

昭和47年6月17日～昭和62年3月31日 理事長 佐藤 直助

昭和62年4月1日～平成9年3月31日 理事長 上田 欣彌

平成9年4月1日～平成13年9月30日 理事長 佐々木 菊見

平成13年10月1日～平成20年6月30日 理事長 池上 雄作

平成20年7月1日～平成31年4月21日 理事長 浅尾 豊信

平成31年4月22日～令和元年5月25日 理事長代行 大庭 清

令和元年5月25日～現在 理事長 大庭 清

キャンパス・建物



■仙台市泉区虹の丘一丁目18番地の2

土地〔虹の丘キャンパス〕……………105,304m²

・百周年記念棟（事務局・記念ホール等）……………2,236m²

・施設（テニスコート2面、グラウンド）……………24,406m²

・同窓会館……………299m²

・顕彰館……………159m²

【東北生活文化大学】建物小計……………11,711m²

・1号館……………1,559m²

・2号館……………1,576m²

・3号館……………1,620m²

・4号館……………334m²

・5号館……………1,006m²

・実験棟……………1,057m²

・6号館……………1,997m²

・体育館……………1,455m²

・図書館……………645m²

・窯業場……………70m²

・造形演習工房……………170m²

・壁画工房……………65m²

・クラブハウス……………157m²

【東北生活文化大学短期大学部】建物小計……………5,243m²

・短大棟……………3,157m²

・80周年記念棟（音楽室・レッスン室・練習室・プレイルーム）……………582m²

・短大・高校第2新体育館……………1,504m²

【東北生活文化大学高等学校】建物小計……………13,728m²

・校舎A棟（普通教室・職員室・図書室）……………4,464m²

・校舎B棟（特別教室等）……………3,041m²

・校舎C棟（普通教室）……………1,062m²

・多目的デザインホール……………586m²

・体育館……………2,279m²

・クラブハウス、工芸、陶芸教室、書道教室……………2,004m²

・デッサン棟……………292m²

■仙台市太白区向山四丁目26番地の34

土地〔向山キャンパス〕……………5,145m²

【短期大学部附属ますみ幼稚園】……………559m²

【短期大学部附属ますみ保育園】……………409m²



三島学園の変遷

明治33年10月 6日 東北法律学校設置認可「(夜間)、修業年限:本科(3年)別科(1年)」
明治33年10月28日

東北法律学校開校。

明治36年10月10日 東北女子職業学校設置認可「本科(修業年限2年)・別科(修業年限2年)・高等研究科(修業年限6ヶ月)」

東北女子職業学校			
本科 (修業年限2年)	別科 (修業年限2年)	高等研究科 (修業年限6ヶ月)	

明治38年 4月 東北女子職業学校高等研究科を高等研究科本科及び別科に分け、家政科、家庭商業科、裁縫師範科、裁縫専攻科の4コースを設置する。修業年限を1年とする。

東北女子職業学校			
本科 (修業年限2年)	別科 (修業年限2年)	高等研究科 (修業年限1年)	
		本科	別科
		家政科、家庭商業科、 裁縫師範科、裁縫専攻科の4コース	

明治43年 4月 東北女子職業学校にを設置(4つ目の科)する。

東北女子職業学校		
本科 (修業年限2年)	別科 (修業年限2年)	高等研究科 (修業年限1年) 本科・別科
		速成科 (修業年限1年)

大正11年 3月31日 東北帝国大学に法文学部が設置され、使命が達成されたとしてする。

大正13年 3月10日

東北法律学校廃止

東北女子職業学校の高等研究科を廃止し、師範科及び専攻科を設置する。
東北女子職業学校速成科を選科に改称する。

東北女子職業学校			
本科 (修業年限2年)	別科 (修業年限2年)	高等研究科廃止	
		高等研究科 →師範科	高等研究科 →専攻科
			速成科 (修業年限1年) →選科

大正13年 5月13日 東北女子職業学校は職業学校規程に基づく実業学校となる。

大正15年 3月 9日 東北女子職業学校に高等師範科(修業年限3年)の設置認可を受ける。

東北女子職業学校				
本科 (修業年限2年)	別科 (修業年限2年)	師範科	専攻科	高等師範科 (修業年限3年)

昭和 5年 4月21日 東北女子職業学校に商業本科(修業年限2年)、商業専修科(修業年限1年)、師範研究科(修業年限1年)及び高等師範研究科(修業年限1年)設置認可を受ける。

東北女子職業学校				
本科 (修業年限2年)	別科 (修業年限2年)	師範科	専攻科	高等師範科 (修業年限3年)
			選科	
		師範研究科 (修業年限1年)		
		商業本科 (修業年限2年)	商業専修科 (修業年限1年)	高等師範研究科 (修業年限1年)

昭和 6年 1月23日 東北女子職業学校師範研究科を高等師範専修科に改称する。

東北女子職業学校					
本科 (修業年限 2 年)	別科 (修業年限 2 年)	師範科	専攻科	選科	高等師範科 (修業年限 3 年)
高等師範研究科 →高等師範専修科					

昭和 6年 10月28日 東北女子職業学校専攻科を、専攻科第一部（和裁専攻）及び専攻科第 2 部（洋裁専攻）への改組が認可される。

東北女子職業学校										
本科 (修業年限 2 年)	別科 (修業年限 2 年)	師範科	専攻科		選科	高等師範科 (修業年限 3 年)	師範専修科	商業科		高等師範専修科
			→専攻科第一部 (和裁専攻)	→専攻科第二部 (洋裁専攻)				商業本科 (修業年限 2 年)	商業専修科 (修業年限 1 年)	

昭和 9年 3月 1日 東北女子職業学校に別科の廃止、本科の修業年限 4 年への改正、選科を裁縫専修科に改称及び専攻科第一部と専攻科第二部を統合し専攻科への改組が認可される。

東北女子職業学校						
本科 (修業年限 4 年 に改正)	別科 …廃止	師範科	専攻科	選科	高等師範科 (修業年限 3 年) →高等師範専修科	師範研究科 (修業年限 1 年) →師範専修科
			専攻科第一部 (和裁専攻)、 専攻科第 2 部 (洋裁専攻) → 専攻科	選科 →一般編専修科		

昭和 14年 3月 31日 東北女子職業学校に洋裁科の設置及び本科の第一部（専常小学校就業者の受け入れ、修業年限 4 年）及び第二部（高等小学校卒業生を受け入れ、修業年限 2 年）への改組を認可される。

東北女子職業学校						
本科		師範科	専攻科	裁縫専修科	高等師範専修科	師範専修科
本科第一部 (修業年限 4 年)	本科第二部 (修業年限 2 年)					
				商業科		商業専修科 (修業年限 1 年)
						高等師範科
						洋裁科

昭和 15年 3月 25日 財団法人三島学園設立認可

昭和 19年 4月 15日 中等学校令及び実業学校規程により東北女子職業学校を東北女子実業学校と改称する。本科以外の各科を廃止する。新たに専攻科第一部（旧高等師範科）、専攻科第二部（旧専攻科）を設置する認可を受ける。

東北女子職業学校→東北女子実業学校											
本科		師範科 …廃止	専攻科 一専攻科第二部	裁縫専修科 …廃止	高等師範専修科 一専攻科第一部	師範専修科 …廃止	商業科			高等師範科 …廃止	洋裁科 …廃止
本科第一部 (修業年限 4 年)	本科第二部 (修業年限 2 年)						商業本科 (修業年限 2 年) …廃止	商業専修科 (修業年限 1 年) …廃止			

東北女子実業学校		
本科第一部 (修業年限 4 年)	本科第二部 (修業年限 2 年)	専攻科第二

昭和 20年 4月 東北女子実業学校に特設専攻科を設置する。8 月の終戦により廃止する。

昭和 22年 3月 31日 三島学園女子専門学校（被服科、修業年限三カ年）の設置認可を受ける。学制改革により東北女子実業学校を三島学園女子中学校に切り替える。
（専攻科第一部は三島学園女子専門学校に改組する。専攻科第二部は専攻科と名称変更する。）

三島学園女子中学校

東北女子実業学校→三島学園女子中学校		
本科第一部 (修業年限 4 年)	本科第二部 (修業年限 2 年)	専攻科第二 →三島学園女子専門学校へ →専攻科

三島学園女子専門学校（被服科、修業年限三カ年）

三島学園女子専門学校
専攻科第一 →被服科（修業年限 3 年）

昭和23年

3月31日

学制改革により三島学園女子高等学校（普通科）の設置認可、東北女子実業学校を廃止する。

東北女子実業学校		
本科第一部 …廃止	本科第二部 …廃止	専攻科 …廃止

昭和23年

4月

1日

三島学園女子高等学校に専攻科洋裁科（修業年限1年）を設置する。

三島学園女子高等学校	
普通科	

昭和24年

4月

1日

三島学園女子高等学校に美容科（別科、修業年限1年）を設置する。

三島学園女子高等学校	
普通科	専攻科洋裁科 (修業年限1年)

昭和26年

2月22日

財団法人三島学園
→学校法人三島学園

三島学園女子高等学校		
普通科	専攻科洋裁科 (修業年限1年)	美容科 (別科、 修業年限1年)
別科・専修科 (修業年限2年)		

昭和26年

3月31日

三島学園女子専門学校を廃止する。

三島学園女子専門学校 …廃止	
-------------------	--

昭和27年

3月27日

三島学園女子高等学校専攻科を三島学園女子短期大学別科とする設置認可を受ける。

三島学園女子短期大学	
三島学園女子 短期大学 裾原科	専攻科洋裁科 (修業年限1年) →別科洋裁科 (修業年限1年)

昭和27年

4月

1日

三島学園女子高等学校に夜間の定時制高校（修業年限4年）を設置する。

三島学園女子高等学校		
普通科	専攻科洋裁科 →短大別科洋裁科 (修業年限1年)	美容科 (別科、 修業年限1年)
別科・専修科 (修業年限2年)		

昭和27年

4月

1日

三島学園女子高等学校に夜間の定時制高校（修業年限4年）を設置する。

三島学園女子高等学校		
普通科	美容科 (別科、 修業年限1年)	別科・専修科 (修業年限2年)
夜間の定時制高校 (修業年限4年)		

昭和28年10月 1日 夜間和裁科（普通科（修業年限6ヶ月）及び研究科（修業年限6ヶ月））を設置する。

夜間洋裁科		夜間和裁科	
普通科 (修業年限 6ヶ月)	研究科 (修業年限 6ヶ月)	普通科 (修業年限 6ヶ月)	研究科 (修業年限 6ヶ月)

昭和29年 4月 1日 三島学園女子短期大学に第二部（夜間2年制）及び別科被服専修第二部（夜間1年制）を設置する。

三島学園女子短期大学			
被服科 →家政科	家政科第二部 (夜間2年制)	別科洋裁科 (修業年限1年)	別科被服専修 第二部 (夜間1年制)

昭和30年 3月31日 三島学園女子短期大学家政専攻科（1年制）を設置する。

三島学園女子短期大学			
家政科	家政科第二部 (夜間2年制)	別科洋裁科 (修業年限1年)	別科被服専修 第二部 (夜間1年制)
			家政専攻科 (1年制)

昭和30年 4月30日 三島学園女子短期大学附属真遼幼稚園（山台市向山大窪谷地102）設置の認可を受ける。同年5月28日、開園式を挙げる。

三島学園女子短期大学附属真遼幼稚園

昭和31年 4月 1日 三島学園女子短期大学附属真遼幼稚園の名称をますみ幼稚園に改称する。

三島学園女子短期大学附属真遼幼稚園
→三島学園女子短期大学附属
ますみ幼稚園

昭和33年 1月10日 三島学園女子大学家政学部家政学科の設置認可を受ける。同年、6月3日開学式を挙げる。

三島学園女子大学
家政学部家政学科

昭和33年 3月31日 三島学園女子短期大学別科被服専修第一部を廃止する。

三島学園女子短期大学			
家政科	家政科第二部 (夜間2年制)	別科洋裁科 (修業年限1年) …廃止	別科被服専修 第二部 (夜間1年制)
			家政専攻科 (1年制)

昭和36年 3月31日 三島学園女子短期大学家政専攻科（1年制）を廃止する。

三島学園女子短期大学			
家政科	家政科第二部 (夜間2年制)		別科被服専修 第二部 (夜間1年制)
			家政専攻科 (1年制) …廃止

昭和37年 4月 1日 三島学園女子短期大学に体育科を開設する。

三島学園女子短期大学		
家政科	家政科第二部 (夜間2年制)	別科被服専修 第二部 (夜間1年制)
		体育科

夜間洋裁科		夜間和裁科	
普通科 (修業年限 6ヶ月) …廃止	研究科 (修業年限 6ヶ月)	普通科 (修業年限 6ヶ月)	研究科 (修業年限 6ヶ月)

昭和38年 3月 1日 三島学園女子短期大学別科被服専修第二部（夜間1年制）を廃止する。

三島学園女子短期大学		
家政科	家政科第二部 (夜間2年制)	別科被服専修 第二部 (夜間1年制)
	…廃止	体育科

昭和39年 3月31日

昭和40年 4月 1日 三島学園女子大学家政学部に生活理学科、生活美術学科を設置する。

三島学園女子大学		
家政学部		
家政学科	生活理学科	生活美術学科

昭和43年 4月 1日 三島学園女子高等学校に商業科を開設する。

三島学園女子高等学校				
普通科	美容科 (別科、 修業年限1年)	別科・専修科 (修業年限2年) …廃止	夜間の定時制高校 (修業年限4年)	商業科 (3年制)

昭和44年 3月 3日 三島学園女子短期大学附属丸田山ますみ幼稚園設置認可を受ける。同年4月1日開園する。

三島学園女子短期大学附属 ますみ幼稚園	三島学園女子短期大学附属 丸田山ますみ幼稚園
------------------------	---------------------------

昭和45年 3月31日 三島学園女子中学校を廃止する。

三島学園女子中学校…廃止

昭和46年 3月31日 三島学園女子高等学校夜間の定時制高校（修業年限4年）を廃止する。

三島学園女子高等学校				
普通科	美容科 (別科、 修業年限1年)		夜間の定時制高校 …廃止	商業科 (3年制)

昭和47年 3月31日 三島学園女子大学家政学部生活理学科の学生募集を停止する。

昭和49年 4月 1日 三島学園女子短期大学体育科廃止届出、受理される。

三島学園女子短期大学		
家政科	家政科第二部 (夜間2年制)	体育科
…廃止	…廃止	…廃止

昭和49年12月 2日 三島学園女子大学・三島学園女子短期大学・三島学園女子高等学校、仙台市清水小路三番地より泉市上谷刈字東伏生14番地（現校地）に全面移転を完了する。

昭和51年 3月31日 三島学園女子大学家政学部生活理学科の廃止届出、受理される。

三島学園女子大学家政学部		
家政学科	生活理学科 …廃止	生活美術学科

夜間洋裁科	夜間和裁科	
研究科 (修業年限 6ヶ月)	普通科 (修業年限 6ヶ月)	研究科 (修業年限 6ヶ月) …廃止

夜間洋裁科	夜間和裁科	
研究科 (修業年限 6ヶ月)	普通科 (修業年限 6ヶ月) …廃止	

夜間洋裁科		
研究科 (修業年限 6ヶ月) …廃止		

昭和56年	4月	1日	三島学園女子短期大学附属丸田山ますみ幼稚園の名称を：三島学園女子短期大学附属虹の丘ますみ幼稚園と改称する認可がされる。	三島学園女子短期大学附属 丸田山ますみ幼稚園 →三島学園女子短期大学附属 虹の丘ますみ幼稚園
昭和57年	9月30日		三島学園女子短期大学家政科二部の廃止認可を受ける。	
昭和59年	9月		三島学園女子短期大学に第二部（夜間2年制）を廃止する。	三島学園女子短期大学 家政科 家政科第二部 （夜間2年制） …廃止
昭和62年	4月	1日	三島学園女子大学の名称を東北生活文化大学に改称認可され、男女共学制に移行する。	三島学園女子大学 →東北生活文化大学
昭和62年	4月	1日	三島学園女子短期大学附属ますみ幼稚園、三島学園女子短期大学附属虹の丘ますみ幼稚園の名称を、それぞれ「ますみ幼稚園」、「虹の丘ますみ幼稚園」と改称する。	三島学園女子短期大学附属 ますみ幼稚園 →ますみ幼稚園 三島学園女子短期大学附属 虹の丘ますみ幼稚園 →虹の丘ますみ幼稚園
平成5年	3月31日		三島学園女子高等学校美容科（別科）を廃止する。	三島学園女子高等学校 普通科 美容科 （別科、 修業年限1年） …廃止
平成10年	3月31日		虹の丘ますみ幼稚園を廃止する。	ますみ幼稚園 虹の丘ますみ幼稚園…廃止
平成10年	4月	1日	三島学園女子高等学校普通科に、「生活文化コース」、「総合教養コース」及び「進学コース」を設置する。	三島学園女子高等学校 普通科 生活文化コース 総合教養コース 進学コース
平成13年	4月	1日	三島学園女子短期大学の家政学科を生活文化学科に改称する。	三島学園女子短期大学 家政科 →生活文化学科
平成13年	4月	1日	三島学園女子高等学校普通科に「美術コース」を設置する。	三島学園女子高等学校 普通科 生活文化コース 総合教養コース 進学コース 美術コース

平成14年

4月

1日

三島学園女子高等学校に「保育コース」を設置する。

三島学園女子高等学校				
普通科			商業科 (3年制)	
生活文化コース	総合教養コース	進学コース	美術コース	保育コース

平成15年

4月

1日

三島学園女子高等学校を東北生活文化大学高等学校と改称し、男女共学制を導入する。
東北生活文化大学高等学校商業科を「情報ビジネスコース」、「経営デザイン」の2コースに編成する。

三島学園女子高等学校 →東北生活文化大学高等学校				
普通科			商業科	
生活文化コース	総合教養コース	進学コース	美術コース	情報ビジネスコース 経営デザイン

平成15年

4月

1日

東北生活文化大学家政学部家政学科に「家政学専攻」と「健康栄養学専攻」を設置する。

東北生活文化大学	
家政学部	
家政学科	生活美術学科
家政学専攻	健康栄養学専攻

平成16年

4月

1日

三島学園女子短期大学を東北生活文化大学短期大学部と改称し、男女共学制を導入する。

三島学園女子短期大学 →東北生活文化大学短期大学部	
生活文化学科	

平成16年

4月

1日

ますみ保育園を開園し、ますみ幼稚園に併設する。

東北生活文化大学短期大学部	
生活文化学科	
生活学専攻	子ども生活専攻

平成17年

4月

1日

東北生活文化大学短期大学部生活文化学科に「生活学専攻」と「子ども生活専攻」を設置する。

東北生活文化大学短期大学部	
生活文化学科	
生活学専攻	子ども生活専攻

平成19年

4月

1日

東北生活文化大学短期大学部生活文化学科に「生活学専攻」と「子ども生活専攻」を設置する。

東北生活文化大学	
家政学部	
家政学科	生活美術学科
家政学専攻 →服飾文化専攻	健康栄養学専攻

平成23年

4月

1日

東北生活文化大学高等学校普通科の「進学コース」を「総進コース」及び「啓進コース」に改編する。

東北生活文化大学高等学校				
普通科			商業科	
生活文化コース	総合教養コース	進学コース →総進コース	美術コース	情報ビジネス コース 経営デザイン

平成23年 4月 1日 東北生活文化大学家政学部生活美術学科に、アートな職人コース、アートインストラクターコース、アーティストコース、デザイナーコースを設置する。

東北生活文化大学		
家政学部		
家政学科		生活美術学科
服飾文化専攻	健康栄養専攻	アートな職人コース アートインストラクターコース アーティストコース デザイナーコース

東北生活文化大学短期大学部生活学専攻にフードエンタテイメントコースを設置する。

東北生活文化大学短期大学部	
生活文化学科	
生活学専攻 フードエンタテイメントコース	子ども生活専攻

平成25年 4月 1日 東北生活文化大学短期大学部に食物栄養学専攻を設置する。

東北生活文化大学短期大学部	
生活文化学科	
生活学専攻 →食物栄養学専攻	子ども生活専攻

平成25年 4月 1日 東北生活文化大学高等学校に美術・デザイン科を設置する。

東北生活文化大学高等学校普通科の「総進コース」、「啓進コース」、「特別進学コース」に改称する。

東北生活文化大学高等学校商業科の「経営デザインコース」を「進学ライセンスコース」に改称する。

東北生活文化大学高等学校					
普通科			商業科		
生活文化コース	総合教養コース	総進コース →進学コース	啓進コース →特別進学コース	保育コース	情報ビジネスコース
					経営デザイン →進学ライセンスコース
					美術・デザイン科

平成25年 4月 1日 ますみ幼稚園、ますみ保育園の名称を、東北生活文化大学短期大学部附属ますみ幼稚園、東北生活文化大学短期大学部附属ますみ保育園に改称する。

ますみ幼稚園 →東北生活文化大学短期大学部附属 ますみ幼稚園

ますみ保育園 →東北生活文化大学短期大学部附属 ますみ保育園

平成26年 3月31日 東北生活文化大学短期大学部生活文化学科生活学専攻を廃止する。

平成29年 4月 1日 東北生活文化大学高等学校の普通科「総合教養コース」と「生活文化コース」を統合し「未来創造コース」を設置する。

東北生活文化大学高等学校					
普通科			商業科		
生活文化コース、総合教養コース →未来創造コース	進学コース	特別進学コース	保育コース	情報ビジネスコース	進学ライセンスコース
					美術・デザイン科

平成31年 4月 1日 東北生活文化大学美術学部美術表現学科を設置する。

東北生活文化大学	
家政学部	美術学部
家政学科	美術表現学科
服飾文化専攻 服飾ビジネスコース 服飾生活コース	健康栄養専攻 美術・工芸コース デザイン・メディア芸術コース

東北生活文化大学

TOHOKU SEIKATSU BUNKA UNIVERSITY

「暮らしワクワク設計チーム」として服飾・栄養・美術の知識と技術を学び、地域の暮らしをデザインする力を育む

【所在地】〒981-8585 仙台市泉区虹の丘一丁目 18 番地の 2 【TEL】022-272-7511 【FAX】022-301-5602

【設立】昭和 33（1958）年 1 月 10 日 【学長】佐藤一郎 【副学長】北折 整 【定員】家政学部 家政学科 68 名（服飾文化専攻 28 名・健康栄養学専攻 40 名）／美術学部 美術表現学科 50 名

【目的及び使命】三島学園建学の精神に基づいて、我が国の生活文化の向上を図るため、学術の中心として、幅広い教養を授けるとともに、深く生活と文化に関する専門の学芸を教授研究し、知的、道德的及び応用的能力を展開させ、社会に貢献する人間性豊かな人材を育成することを目的とし、使命としている。

【評価】本大学は平成 19 年度に財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受け、同機構が定める大学評価基準を満たしていると認定されており、平成 25 年度には 2 回目の評価を受け、適格と認定された。

東北生活文化大学短期大学部

TOHOKU SEIKATSU BUNKA
JUNIOR COLLEGE

「暮らしワクワク設計チーム」として栄養学・幼児教育・保育の知識と技術を学び、地域の暮らしをデザインする力を育む

【所在地】〒981-8585 仙台市泉区虹の丘一丁目 18 番地の 2 【TEL】022-272-7511 【FAX】022-301-5602

【設立】昭和 26（1951）年 2 月 27 日 【学長】佐藤一郎 【定員】食物栄養学専攻 40 名／子ども生活専攻 60 名

【目的及び使命】三島学園建学の精神に基づいて、我が国の生活文化の向上を図るため、生活と文化に関する専門の学芸を教授研究し、実学教育によって職業又は实际生活に必要な能力を養成し、社会に貢献する実践力のある人材を育成することを目的とし、使命としている。

【評価】本短大は平成 27 年度に財団法人短期大学基準協会による 2 回目の第三者評価を受け、適格と認定された。

東北生活文化大学高等学校

TOHOKU SEIKATSU BUNKA UNIVERSITY
SENIOR HIGH SCHOOL

すべての生徒と先生との Friendship（きずな）

【所在地】〒981-8585 仙台市泉区虹の丘一丁目 18 【TEL】022-272-7530 【FAX】022-272-7523

【設立】昭和 23（1948）年 3 月 31 日 【校長】佐藤富夫 【教頭】水沼武晴・油井康浩

【定員】390 名

【教育目標】「知性、感情、意思、能力、趣味が偏らない調和のとれた人」、「自愛からひろく他愛に及ぶ愛情豊かな人」、「空理空論に走らず小さな善でも勇敢に実行する実践力に富んだ人」の育成

東北生活文化大学短期大学部附属

ますみ幼稚園

MASUMI KINDERGARTEN

三島学園の校訓を踏まえ、命最優先の教育、一人一人に目をかけ声をかけ誠心誠意を注ぐ教育、そして子どもから目をそらさず見限らない教育を基本理念にかかげる 調和、感性、実践力に富む子どもの育成を目指す

【所在地】〒982-0841 仙台市太白区向山四丁目 26-34 【TEL・FAX】022-225-5020

【設立】昭和 30（1955）年 5 月 28 日 【園長】小熊信治 【定員】105 名

【教育目標】たのしく やさしく たくましく

○喜んで活動する子 ○あいさつのできる子 ○思いやりの深い子 ○明るく元気な子

東北生活文化大学短期大学部附属

ますみ保育園

MASUMI NURSERY SCHOOL

子どもの最善の利益を第一義に考え、一人一人を大切にし、保護者から信頼される保育園を目指す

【所在地】〒982-0841 仙台市太白区向山四丁目 26-34 【TEL】022-227-7080 【FAX】022-227-7085

【設立】平成 16（2004）年 4 月 1 日 【園長】稲邊真由美 【定員】60 名

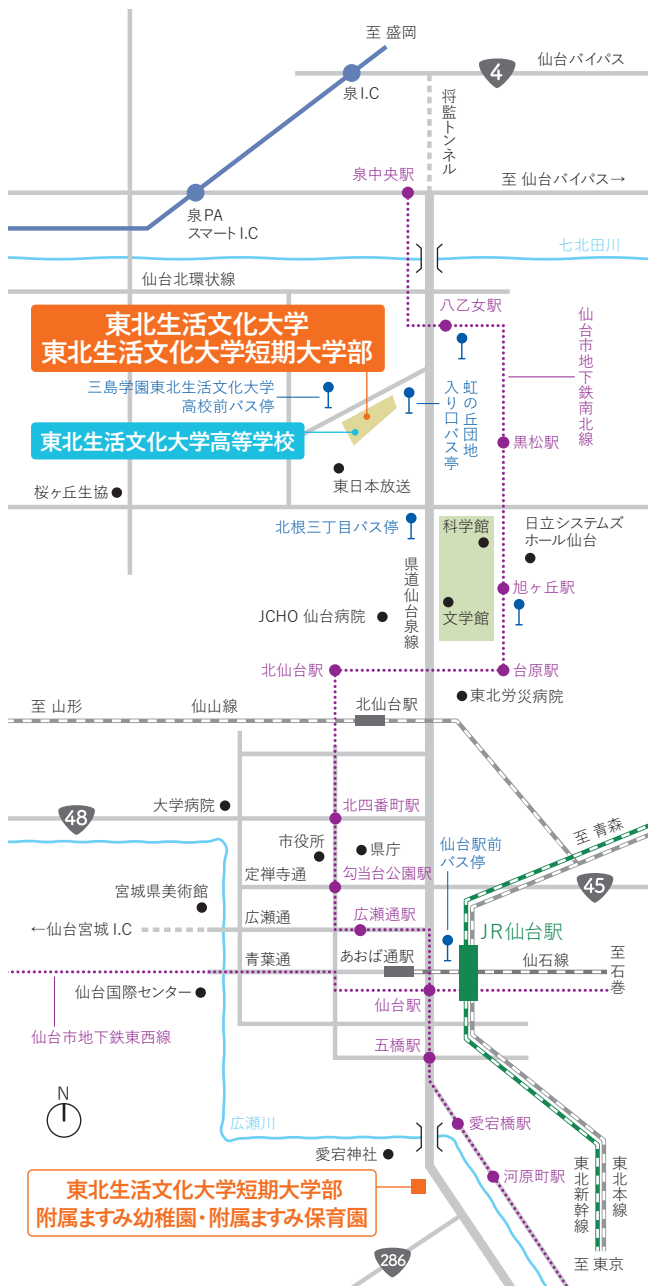
【保育方針】よく遊び、意欲的に生活できる子どもの育成と、保護者と共に育て合う保育を行う

○じょうぶな子ども ○友達と力を合わせる子ども ○思いやりのある子ども

○自分で考えて行動する子ども ○感性豊かな子ども

アクセス

■仙台駅方面からのアクセス



仙台駅前からバス利用の場合

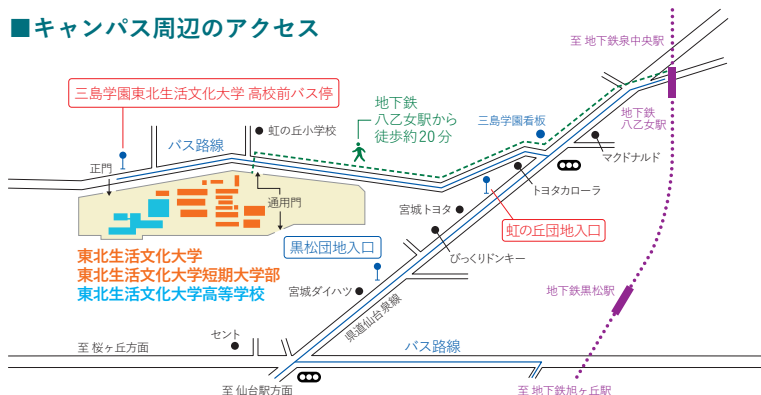
- 西口バスプール4番乗り場〔宮城交通バス〕
(県庁市役所経由)
●「虹の丘団地(黒松団地入口経由)」行き
●「泉中央駅(虹の丘・みずほ台経由)」行き
>>> 約25分
○「三島学園東北生活文化大学・高校前」下車
(片道350円)
- 「富谷営業所」行き
●「南富谷サニータウン」行き
●「向陽台団地」行き
●「明石台団地」行き
●「松陵ニュータウン(免許センター経由)」行き
●「鶴が丘ニュータウン
(住宅前経由、免許センター経由)」行き
●「東北学院大学泉キャンパス」行き
●「新富谷ガーデンシティ」行き
〔仙台市営バス〕／黒松一丁目経由〔宮城交通バス〕行き
>>> 約25分
- 「虹の丘団地入口」下車、徒歩約10分
(片道330円)

地下鉄南北線からバス利用の場合

- 八乙女駅2番乗り場〔宮城交通バス〕
●「仙台駅前(みずほ台・虹の丘経由)」行き
>>> 約10分
○「三島学園東北生活文化大学・高校前」下車
(片道170円)
- 八乙女駅入口〔宮城交通バス〕
●「仙台駅前(みずほ台・虹の丘経由)」行き
>>> 約10分
○「三島学園東北生活文化大学・高校前」下車
(片道170円)
- 旭ヶ丘駅2番乗り場〔宮城交通バス〕
※土曜・休日運休
●「虹の丘団地、水の森公園キャンプ場入口
(虹の丘・みずほ台経由)」行き
●「泉中央駅」行き
>>> 約7分
○「三島学園東北生活文化大学・高校前」下車
(片道170円)

路線バス時刻・運賃案内など、詳しくは
宮城交通バスのホームページをご覧ください。
宮城交通バス <http://www.miyakou.co.jp>

■キャンパス周辺のアクセス









〒981-8585 仙台市泉区虹の丘一丁目18番地の2
TEL 022-272-7511(代)
FAX 022-272-7516
URL <http://www.mishima.ac.jp>
E-mail hojin@mishima.ac.jp